

## 第2学年 音楽科学習指導案

1 単元名            くりかえしを見つけよう

2 単元の目標

リズムの特徴や反復に気付き、それを生かしてリズムをつくる技術を身に付ける。

3 本時の学習

(1) 目標

太鼓の口唱歌やリズムカードを活用し、反復を使って8拍のリズムをつくる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

本時は復習としてプログラミングを取り入れる。音符の長さをプログラミングすることで、音符の長さの関係を視覚的、直観的に理解し、リズム作りの活動を充実させる。

(3) 展開

学習活動	・指導上の留意点 (◇評価)
1 前時に学習したリズムを打ち、本時のめあてをつかむ。	・本時のめあてを確認し、学習への意欲を高める。
おまつりのたいこのリズムをつくろう。	
2 既習の音符、休符の長さをプログラミングする。	・音符の記号と名前、長さを確認し、リズム唱をすることで、音符の長さを意識したプログラミングができるようにする。
3 音符や休符の長さに気をつけて、1小節分のリズムをつくり、他のリズムと組み合わせて4小節のリズムをつくる。	・手拍子をしたり、リズムを口に出したりするように助言し、試しながらリズムを作ることができるようにする。 ◇リズムを試しながら選び、反復を活用してまとまりのあるリズムを作っている。
4 作ったリズムを発表したり、友だちのリズムとつなげたりする。	・工夫したところや気に入っているところを発表させ、お互いのリズムのよさを認め合えるようにする。
5 本時の活動を振り返る。	・学習したことを確かめるとともに、次時の学習への意欲を高める。

4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	・リズムのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムをつくる技術を身につけてつくっている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	・口唱歌の言葉で表現したり、手拍子で打ったりして確かめるよう助言する。 ・リズムカードを使って色々なリズムを何度も試すことができるようにする。